

### 3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定  
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況  
(2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲6.45%	▲6.11%
過去3ヵ月	▲12.87%	▲12.38%
過去6ヵ月	▲5.89%	▲5.83%
過去1年	+4.34%	+2.66%
過去3年	▲46.10%	▲44.82%
設定来	+3.70%	+0.47%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在)

[設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年11月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	15.2%
輸送用機器	8.8%
化学	7.9%
銀行業	7.0%
情報・通信業	6.9%
卸売業	5.2%
小売業	5.0%
機械	4.7%
陸運業	3.9%
食料品	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.3%
日本電信電話	情報・通信業	2.8%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.4%
野村ホールディングス	証券・商品先物	2.3%
本田技研工業	輸送用機器	2.2%
三菱商事	卸売業	2.2%
オリックス	その他金融業	1.7%
東日本旅客鉄道	陸運業	1.6%
三井物産	卸売業	1.5%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
JPモルガン	グロース型	22%
パレテュー	グロース型	18%
GLG	バリュー型	18%
アラフィフ・パートナーズ	バリュー型	20%
ファンネクス	マーケット・オリエンテッド型	22%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合  
②キャッシュ・エクイティ・エクイティ・エクイティ(流動資金の株式化)部分等を除きます。

(投資信託名)フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況  
(2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲7.04%	▲6.11%
過去3ヵ月	▲11.61%	▲12.38%
過去6ヵ月	▲2.13%	▲5.83%
過去1年	+10.76%	+2.66%
過去3年	▲42.05%	▲44.82%
設定来	▲7.96%	▲11.33%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在)

[設定日:2001年11月29日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率  
(2009年10月末現在)

市場	比率
東証1部	87.7%
東証2部	0.0%
シヤスタック	1.3%
その他市場	8.0%

■組入上位5業種  
(2009年10月末現在)

業種	比率
電気機器	24.8%
機械	8.3%
輸送用機器	6.5%
化学	6.1%
情報・通信業	6.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄(2009年10月末現在)

銘柄	業種	比率
ダイキン工業	機械	3.1%
三菱電機	電気機器	3.0%
日本電産	電気機器	3.0%
パナソニック電工	電気機器	3.0%
東芝	電気機器	3.0%
野村ホールディングス	証券・商品先物取引業	2.8%
オリックス	その他金融業	2.4%
ミスミグループ本社	卸売業	2.3%
トヨタ自動車	輸送用機器	1.9%
日立金属	鉄鋼	1.9%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式プラス型 (CS) 特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「SGターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2009年11月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲7.92%
過去3ヵ月	▲15.25%
過去6ヵ月	▲7.91%
過去1年	+5.26%
過去3年	▲23.53%
設定来	+32.37%

基準価額の推移 (2009年11月末現在) [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2009年11月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東証1部	88.7%
東証2部	1.5%
ジャスダック	1.8%
その他市場	1.2%
現金・その他	6.7%
合計	100.0%

■組入上位10業種

業種	比率
建設業	15.6%
機械	9.4%
卸売業	9.0%
電気機器	8.8%
化学	8.0%
金属製品	6.0%
銀行業	5.7%
情報・通信業	5.2%
食料品	4.2%
その他製品	3.5%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
日本電設工業	建設業	2.6%
長府製作所	金属製品	2.5%
天馬	化学	2.5%
第四銀行	銀行業	2.4%
新東工業	機械	2.2%
関東天然瓦斯開発	鉱業	2.1%
ハウス食品	食料品	2.1%
きんでん	建設業	2.1%
三菱鉛筆	その他製品	2.0%
東京応化工業	化学	2.0%

(出所)ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型 (CS) 特別勘定  
積極運用バランス型 (CS) 特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク (MSCI KOKUSAI・配当込み) を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲2.76%	▲0.34%
過去3ヵ月	+1.28%	+0.13%
過去6ヵ月	+13.27%	+9.80%
過去1年	+28.66%	+22.07%
過去3年	▲35.03%	▲35.04%
設定来	+8.69%	+12.93%

基準価額の推移 (2009年11月末現在) [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2009年11月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	51.8%
ユーロ地域	17.3%
ユーロ域外	24.7%
その他	6.2%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	2.2%
Intel Corp.	USD	1.4%
Glaxo SmithKline PLC	GBP	1.3%
JP Morgan Chase & Co.	USD	1.3%
Apple, Inc.	USD	1.2%
Walt Disney Co.	USD	1.1%
LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton	EUR	1.0%
BANK OF NEW YORK MELLON	USD	1.0%
Linde AG	EUR	1.0%
OIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーコ	グロース型	20.0%
マツキラー	グロース型	10.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アロースト	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
パリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合  
②キャッシュ・エクイティ・ポジション(流動資金の株式化)部分を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定
海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ指数)の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund Return, Benchmark Return. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在) [設定日:2002年9月24日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年11月末現在)

■地域・国別構成比率

Table showing regional and country breakdown of the portfolio, including North America, Europe, Asia, and others.

■株式組入上位10銘柄

Table listing the top 10 stocks in the portfolio, including Exxon Mobil, Microsoft, HSBC, and others.

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆成長性があり且つ割安と判断される日本を除くアジア企業に分散投資します。
◆MSCIオール・カンントリー・ファーマーズ・インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとします。
◆原則として為替ヘッジは行いません。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「JFアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)
JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund Return, Benchmark Return. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在) [設定日:2003年2月12日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■国別構成比率(2009年11月末現在)

Table showing the country breakdown of the portfolio, dominated by China and Hong Kong.

※国別比率は組入株式を100%として計算しています。

■株式組入上位10銘柄(2009年10月末現在)

Table listing the top 10 stocks in the portfolio, including Samsung Electronics, China Construction Bank, and others.

※株式組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆主として、ロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業に投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。ロシア・東欧諸国の市場に上場する株式、DR(預託証券)、ロンドン等その他の市場に上場しているロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業が投資の対象となります。
- ◆ファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行い、ルクセンブルグ籍の投資信託証券「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」および「SGAM Fund マネー マーケット(ユーロ)」に投資します。
- ◆ロシア・東欧株式への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」を通じて行い、その組入れを高位に保ちます。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。

(出所)ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

期間	ファンド
過去1ヵ月	▲2.36%
過去3ヵ月	+13.74%
過去6ヵ月	+19.24%
過去1年	+58.16%
過去3年	▲44.33%
設定来	+0.45%

基準価額の推移(2009年11月末現在)

【設定日:2005年3月31日】



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」の状況)(2009年11月末現在)

■国別構成比率

国	比率
ロシア	74.67%
ポーランド	18.14%
ハンガリー	4.73%
チェコ	1.69%
スロベニア	0.31%
カザフスタン	0.23%
オーストリア	0.14%
ルーマニア	0.00%
トルコ	0.00%
ウクライナ	0.00%

■業種別構成比率

業種	比率
エネルギー	37.93%
金融	22.97%
素材	20.01%
電気通信サービス	7.65%
生活必需品	6.93%
公益事業	2.30%
情報技術	0.95%
ヘルスケア	0.87%
資本財・サービス	0.29%
一般消費財・サービス	0.00%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
LUKOIL-SPON ADR (LI*)	9.73%
SBERBANK RF-\$ US (RR*)	9.70%
OAO GAZPROM-SPON ADR REG S (LI*)	8.18%
JSC MMC NORILSK NICKEL-ADR (LI*)	6.60%
ROSNEFT OIL CO (RFX*)	6.17%
PKO BANK POLSKI SA (PW*)	4.11%
KGHM POLSKA MIEDZ S.A. (PW)	3.73%
NOVOLIPET STEEL-GDR W1 REG S (LI*)	3.36%
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR (UN*)	3.01%
SURGUTNEFTEGAZ-SP ADR (LI*)	2.57%

※「株式組入上位10銘柄」は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」における対純資産総額比率をいいます。

※「国別構成比率」、「市場別構成比率」は、「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」における組入れ株式を100%として計算しています。

当ファンドに投資している特別勘定

海外株式プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆今後大きな経済成長/発展が期待されるエマージング(新興)諸国のリーダーBRICS5カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)の企業に、「JPM・BRICS5・マザーファンド(適格機関投資家専用)」を通じて投資します。
- ◆基本資産配分をブラジル、ロシア、インド、中国、南アメリカ各20%ずつとしますが、マザーファンドの運用の委託先の判断に基づいて±10%の範囲内で基本資産比率の調整を行います。
- ◆マザーファンドの運用の指図に関する権限をJPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに委託します。
- ◆原則として、為替ヘッジを行いません。

(出所)JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

期間	ファンド
過去1ヵ月	▲3.78%
過去3ヵ月	+6.35%
過去6ヵ月	+15.19%
過去1年	+73.55%
過去3年	+1.28%
設定来	+29.65%

基準価額の推移(2009年11月末現在)

【設定日:2007年5月26日】



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■国別構成比率(2009年11月末現在)

国	比率
ブラジル	23.3%
中国	23.3%
ロシア	19.1%
インド	18.7%
南アフリカ	15.6%

※国別比率は組入株式を100%として計算しています。

■株式組入上位10銘柄(2009年10月末現在)

銘柄	国籍	業種	比率
ズベラバンク	ロシア	銀行	6.34%
HDFC	インド	銀行	3.82%
ノルニクニッケル	ロシア	素材	3.72%
中国建設銀行	中国	銀行	3.64%
招商銀行	中国	銀行	3.61%
利豊	中国	小売	3.19%
中国人寿保険	中国	保険	3.12%
華潤創業	中国	小売	3.04%
ガスプロム	ロシア	エネルギー	2.96%
インフォシス・テクノロジーズ	インド	ソフトウェア・サービス	2.71%

※株式組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定
世界債券プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
◆原則として為替ヘッジは行いません。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

Table with columns: 過去1ヵ月, 過去3ヵ月, 過去6ヵ月, 過去1年, 過去3年, 設定来. Rows: ファンド, ベンチマーク.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在) [設定日:2002年8月1日]



ポートフォリオの状況(2009年11月末現在)

■国別構成比率 上位5カ国

Table with columns: 国, 比率. Rows: 日本, アフリカ, ドイツ, フランス, イギリス.

■通貨別構成比率 上位5通貨

Table with columns: 通貨, 比率. Rows: ユーロ, 日本円, 米ドル, 英ポンド, カナダドル.

■債券組入上位10銘柄

Table with columns: 銘柄, 通貨, 償還日, クーポン, 格付け, 比率. Lists top 10 bond holdings.

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

(出所)アパディーン投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆主に日本を除く主要先進国の国債、モーゲージ債、社債等を主要投資対象とし、債券からくるインカム収入だけでなく、キャピタル・ゲインも含めたトータル・リターンを最大化することを目的とします。
◆シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)90%および1ヶ月LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
◆ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、ケイマン籍円建て外国投資信託「ピムコ・ケイマン・グローバル(除く日本)債券ファンド」に90%程度、「ピムコ・ケイマン・ショートターム・モーゲージ・ファンド」に10%程度投資することを基本とします。

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

Table with columns: 過去1ヵ月, 過去3ヵ月, 過去6ヵ月, 過去1年, 過去3年, 設定来. Rows: ファンド, ベンチマーク.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

基準価額の推移(2009年11月末現在) [設定日:2002年9月24日]



ポートフォリオの状況(2009年11月末現在)

■ポートフォリオ・プロフィール

Table with columns: 平均最終利回り, 平均デュレーション, 平均償還期間, 平均格付け.

■種別構成比

Table with columns: 種類, 比率. Rows: 国債、E-ジャンナー債, モーゲージ債、アセットバック債, 社債, キャッシュ等.

■国・地域別構成比

Table with columns: 国・地域, 比率. Rows: アメリカ, ユーロ圏, イギリス, カナダ, スウェーデン, ポーランド, オーストラリア, 日本.

■格付け別構成比

Table with columns: 格付け, 比率. Rows: AAA, AA, A, BBB, BB以下, A1/P1, A2/P2.

※数値は全て、当ファンドが組入れている2本のファンドを合算して算出しています。

(出所)ピムコ ジャパン リミテッド

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券プラス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米ドル建て高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を中心に分散投資を行います。
- ◆格付けに関しては、主に、Ba格(ムーディーズ社)以下またはBB格(スタンダード・アンド・プアーズ社)以下の格付けの事業債に投資を行い、一部、格付けを持たない債券や、米国以外の国の発行体の高利回り事業債を組入れることもあります。
- ◆銘柄選別に関しては、個別企業分析により判断します。
- ◆個別企業分析にあたっては、個別の企業の信用分析とポートフォリオ・マネージャーによるボトム・アップ・アプローチを重視した運用を行います。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲3.95%	▲4.12%
過去3ヵ月	+0.38%	+2.00%
過去6ヵ月	+7.45%	+9.67%
過去1年	+36.50%	+49.30%
過去3年	▲16.47%	▲12.48%
設定来	+16.02%	+23.99%

基準価額の推移(2009年11月末現在)

[設定日:1998年4月1日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■格付け別構成比(2009年10月末現在)

格付け	比率
A以上	0.3%
BBB	6.4%
BB	28.0%
B	33.3%
CCC	23.1%
CC以下	8.1%
格付なし	0.8%

■組入上位5業種(2009年10月末現在)

業種	比率
健康サービス	11.1%
通信	10.4%
エネルギー	8.9%
公益	7.3%
テクノロジー/エレクトロニクス	6.5%

■債券組入上位10銘柄(2009年10月末現在)

銘柄	業種	格付	比率
HCA INC 9.25% 2016/11/15	健康サービス	BB/Ba	1.3%
TL ACQSTNS 10.5% 2015/01/15 144A	印刷/出版	CCC/Caa	1.0%
CHARTER COMM 8% 2012/04/30 144A	メディア・ケーブル	D	0.9%
NIELSEN FIN LLC 10% 2014/08/01	メディア・総合	B	0.9%
TXU ENERGY CO 10.875% 2017/11/01 W	公益	CC/Caa	0.8%
SIX FLAGS OPER 12.25% 2016/07/15	レジャー	D	0.8%
AVAYA 10.875% PIK 2015/11/01 144A	テクノロジー/エレクトロニクス	B	0.8%
NEXTEL COMM 7.375% SER D 2015/08/01	通信	BB/Ba	0.8%
DAVITA INC 6.625% 2013/03/15	健康サービス	B	0.7%
CHARTER COMM 8.375% 2014/04/30 144A	メディア・ケーブル	D	0.7%

※各比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

安定成長バランス型(CS)特別勘定  
積極運用バランス型(CS)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.07%	+0.86%
過去3ヵ月	+1.06%	+0.78%
過去6ヵ月	+3.38%	+2.28%
過去1年	+4.53%	+3.01%
過去3年	+5.96%	+7.61%
設定来	+7.53%	+10.12%

基準価額の推移(2009年11月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年11月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	61.3%
地方債	0.0%
政府保証債	3.0%
金融債	0.0%
事業債	21.3%
円建外債	4.6%
MBS	0.0%
ABS	0.0%
その他	9.8%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
BNPパリバ	金利増強型	31%
リソナ	広範囲型	20%
DIAM	広範囲型	25%
住信アセット	クレジット/セクター戦略型	20%
ビコムジャパン	収益源泉拡張型	4%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型(CS)特別勘定

## ファンドの特色等

- ◆わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
- ◆NOMURA-BPI総合短期(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期)をベンチマークとします。
- ◆デュレーション、公社債のセクター(種別・格付別等)配分、個別銘柄選定等をアクティブに決定・変更し、収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ノムラ短期債券オープン マザーファンド」を主要投資対象とします。

NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村証券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

(出所)野村アセットマネジメント株式会社ホームページより

## ファンドの騰落状況(2009年11月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1年	+1.9%	+1.7%
過去2年	+0.4%	+1.3%
過去3年	+0.6%	+1.3%
設定来	+5.9%	+4.9%

※騰落状況は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。  
 ※2～3年の騰落率は年率平均(複利ベース)  
 ※設定来=2002年4月26日以降

## ポートフォリオの状況(2009年11月末現在)

## ■デュレーション

2.3年

種別	比率
国債	68.6%
地方債	1.3%
政府保証債	1.6%
金融債	3.7%
事業債	17.7%
円建外債	3.2%
MBS	-
ABS	0.2%
その他の債券	-
その他	3.5%
外貨建資産	-

## ■格付別構成比

格付	比率
AAA	75.2%
AA	14.8%
A	4.9%
BBB	1.6%
BB	-
B以下	-
その他	3.5%

※「デュレーション」は短期金融資産(キャッシュ等)を含めたファンド全体のデュレーションをいいます。  
 ※「種別構成比」における円建資産の種別は、ベンチマークの資産構成比に準じて表示しています。ベンチマークの種別に該当しない債券はその他債券とします。  
 ※格付は、指定格付機関から受けている格付のうち、最も高い格付けによります。  
 ※比率は、マザーファンドにおける対純資産総額比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

## 当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型(CS)特別勘定

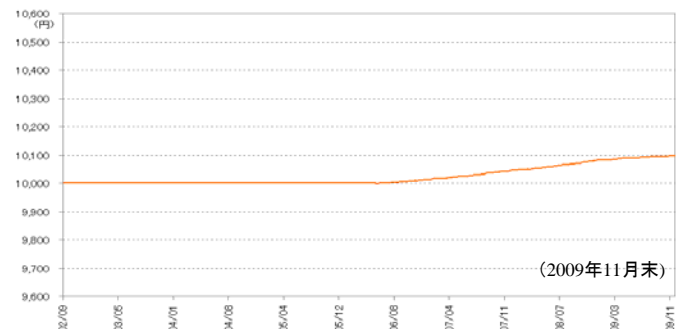
## ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

## ファンドの騰落状況(2009年11月末基準)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.02%
過去3ヵ月	+0.04%
過去6ヵ月	+0.07%
過去1年	+0.21%
過去3年	+0.87%
設定来	+0.97%

## 基準価額の推移(2009年11月末現在) [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

## ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

## ■ポートフォリオ・プロフィール(2009年10月末現在)

平均残存日数	55.55日
平均残存年数	0.15年

## ■格付別構成比(2009年10月末現在)

格付	比率
長期債券	AAA/Aaa 0.0%
格付	AA/Aa 100.5%
	A 0.0%
短期債券	A-1/P-1 0.0%
格付	A-2/P-2 0.0%
現金・その他	-0.5%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

## ■債券組入上位10銘柄(2009年10月末現在)

銘柄	格付	比率
第47回 国庫短期証券 2009/11/16	AA/Aa	22.8%
第63回 国庫短期証券 2010/02/01	AA/Aa	13.6%
第61回 国庫短期証券 2010/01/25	AA/Aa	12.0%
第60回 国庫短期証券 2010/01/18	AA/Aa	10.9%
第51回 国庫短期証券 2009/12/07	AA/Aa	8.2%
第53回 国庫短期証券 2009/12/14	AA/Aa	8.2%
第57回 国庫短期証券 2009/12/28	AA/Aa	8.1%
第43回 国庫短期証券 2009/11/02	AA/Aa	5.4%
第55回 国庫短期証券 2009/12/21	AA/Aa	5.4%
第64回 国庫短期証券 2010/02/08	AA/Aa	5.4%

(出所)フィデリティ投信株式会社

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

## ■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。